

市報

とす

市民課

住民異動(転出・転入・転居)受付

市役所は5月から
毎週土曜日が休みとなります

平成6年

5/1号

No.757

うるおいと活力あふれる未来にはばたく交流都市

夢の実現へキツクオフ!

「JFLの成績次第では、準会員を経ずしてJリーグ入りを実現することもある」とJリーグの川淵チェアマンが

激励――。

四月五日、山下市長と井本 啓知事、フューチャーズ・フットボールクラブ(株)の有田

平代表取締役などが東京のJリーグ本部を訪れ、川淵三郎 チェアマンと会談。川淵氏は「地元の熱意も十

分理解したし、加盟条件の整備も大きく前進した」と評価。「準会員加盟については直ちに四月の理事会の議題とはせ

ず、今後、代行スタジアム整備の着工状況、チームの地域密着度などをもうしばらく見せてもらいたい、すっきりした形で結論を出したい」と述べ、

知事は「県としてもチーム運営会社に応分の出資をしたい」と、県が運営会社に参加する意向を表明しました。PJMフューチャーズは昨年九月、Jリーグに準会員加盟を申請、十一月の理事会で「ホームスタジアムの完備やチーム運営会社の設立についていまひとつ具体性に欠け、準備不足」と判断され、加盟が先送りされていました。

「JFLにおけるフューチャーズの成績次第では、準会員を経ずしてJリーグ入りを実現することもあるので、さらに頑張ってもらいたい」と激励しました。

また、この会談の中で井本

多目的スタジアム、年内着工へ

提示された条件のひとつ、スタジアム建設については昨年十二月、市議会議員有志二十八名からなる「Jリーグ鳥栖ホームタウン誘致・スタジアム建設促進議員連盟」(会長・平塚元議員、略称Jリーグ鳥栖議員連盟)が発足し、県や県内全市町村の支援協力を要請。一方、市は予算にスタジアムの設計委託料を計上し、現在、基本設計・実施設計を作成中で、今夏には設計を終わり、年内の着工を目指しています。

この多目的スタジアムは、市民のみならずの多目的な利用とあわせ、全国的・国際的なイベントに対応できる施設として建設するものです。この利用のほかプロサッカーやラグビーなどにも対応できる施設として位置づけています。

第3回JFL加盟16チーム

東芝	(J1③)
大塚製薬	(J1④)
柏レイソル	(J1⑤)
富士通	(J1⑥)
セレッソ大阪	(J1⑦)
東京ガス	(J1⑧)
藤枝ブルックス	(J1⑨)
京都パープルサンガ	(J1⑩)
本田技研	(J2⑪)
PJMフューチャーズ	(J2⑫)
コスモ石油	(J2⑬)
川崎製鉄	(J2⑭)
NTT関東	(J2⑮)
西濃運輸	(J2⑯)
甲府サッカークラブ	(J2⑰)
NEC山形	(地域⑱)

※()内は昨年順位。J1=JFL1部、J2=同2部、地域=地域リーグ。



ディエゴ・マラドーナの実弟、ウーゴ・マラドーナ

PJMフューチャーズ 5月のホームゲーム

- 8日@14:00 PJM-NEC
佐賀県総合運動場陸上競技場
- 15日@14:00 PJM-川鉄
唐津市陸上競技場
- 22日@14:00 PJM-西濃
小郡市陸上競技場

代行スタジアムに県陸上競技場

この財源として予定しているのが自治省のふるさとづくり事業「地域総合整備事業」で、地方自治体の特色ある地域づくりを国が支援するもの。県では三月三十一日、鳥栖市の多目的スタジアム建設事業を含む十三件を自治省に申請しました。採択されれば、地域総合整備事業債を活用して自治体の能力に応じた財政支援が受けられることになり、

事業費約九十二億円のうち約六十九億円をこの地方債でまかなうこととなります。スタジアム完成までの間は、佐賀市の県総合運動場が夜間照明四基の設置、陸上競技場の芝生の張り替えなど、十三億五千万円をかけて全面改修されることになっており、県民スポーツの振興とともにフューチャーズの代行スタジアムとしても使用できることにな



寿屋前で市民と交流するフューチャーズ一行

PJMフューチャーズ 主力選手が鳥栖市を訪問

佐賀県への本拠地移転が決まったPJMフューチャーズのメンバーが四月十一日、井本県知事と山下乡長を表敬訪問しました。訪れたのは桑原隆監督と袁口裕介主将、セルジオ・パチスタ副主将、前田浩二選手、ウーゴ・マラドーナ選手の五人。三十四日間のマレーシアキャンプで真っ黒に日焼けした顔で鳥栖市を訪れた一行は、市民や市職員の熱烈的な歓迎を受けて歓迎式に出席しました。桑原監督は「佐賀のチームになり、Jリーグに向けて一歩前進しました。JFL優勝を目指して頑張りますので、応援してください」とあいさつ。山下乡長が「地元のチー

ムとして頑張り、来年はぜひJリーグ入りを果たしてください」と激励しました。続いて鳥栖少年サッカークラブ主将の築地原慎二君（基里小六年）が「この日を楽しみにしていました。鳥栖にプロが来るなんて夢のようです。クラブのみんなはサッカーが大好きでプロを目指している人もいます。僕たちにいるる教えてください。そしてこのまちをサッカーで有名にして、みんなの夢を実現してください」と歓迎。式後、一行と誘致委員会のメンバーがJR鳥栖駅から寿屋までをパレード。寿屋前でサイン会や選手紹介などを行って市民と交流を深めました。

地域に密着したチームにするためのホームタウンづくりも進み、二月に行われた下部組織の選考会には五百人を超す応募者が詰め掛け、ジュニア（小学生）七十人、ジュニアユース（中学生）百六人、ユース（高校生）七十人、二軍にあたるジュニオール（大学生、社会人）に十二人が合格し、既に練習が始まっています。四月二十四日からは第三回ジャパン・フットボールリーグ（JFL）が開幕。今季からこれまでのJ1、J2に

フューチャーズは二月二十七日のインテルナショナル戦の直後、マレーシアで一か月に及ぶハードトレーニングを積み、開幕に備えてきました。ジェフユナイテッド市原から移籍した主将の袁口裕介を軸にセルジオ・パチスタ、ウーゴ・マラドーナ、エクトル・エンリケのアルゼンチントリオを擁するフューチャーズが今季の台風の目となることは間違いなく、Jリーグ入りを目指したし烈な争いが展開されると予想されています。私たちのフューチャーズに熱い声援を送りましょう。

なっています。

また、三月三十日には県市、鳥栖商工会議所などの関係団体で構成する「プロサッカーホームタウン誘致推進協

チーム運営会社、22社が参加

もうひとつの条件であったPJMフューチャーズを所有し経営するチーム運営会社は三月三十一日に設立され、代表取締役にピー・ジェイ・エムジャパン（株）社長の有田平氏が就任しました。

「議会」が発足。関係する団体相互の連絡調整、情報収集、チーム支援など、誘致実現に向けた施策を展開していくことになりました。会社名は「フューチャーズ・フットボールクラブ（F・C）株式会社」で、所在地は佐賀市天神。鳥栖市（出資金一千万円）とピー・ジェイ・エムジャパン（株）、県内企業二十一社の共同出資で資本金

は二億円。

市内からは今泉建設、大石膏盛堂、大島組、ヨコオ、ニシキ、権藤建設、昭栄化学工業、鳥栖構内タクシ、石橋整形外科、元町歯科診療所、野中建設、永家組、マツコーの十三社、県内では松尾建設

第3回JFL開幕、熱い声援を

一方、PJMフューチャーズの静岡県浜松市から佐賀県への本拠地移転については、佐賀、静岡両県サッカー協会

など八社が参加しています。同社はチームを所有・経営するほか、サッカー選手やスポーツ指導者の養成、プロサッカー選手のマネジメント管理、サッカーその他のスポーツ競技の興業など、チーム運営全般を行います。よる一、二部制が廃止され、十六チームによる一部制で新発足し、十月二十三日まで、自チームと相手チームのホームタウンで一戦ずつを行うホームアンドアウェイ方式の総当たりで、三十節二百四十試合が行われます。

4月20日オープン

宿泊でできます「やまびこ山荘」

ふれあい農園やふれあい広場も整備

四月二十日のオープンを前に滞在型農園施設「やまびこ山荘」の落成式が同十九日、山口市長や施設の運営にあたる鳥栖市ふれあいの里振興協会理事・時津末男市議会議員など約百三十人が出席して行われました。

式典では、市長らがテープカットをしたあと「やまびこ山荘」の名付け親となった浅井町の中島カオルさん(45歳)に記念品を贈って、完成を祝いました。



外観は隣のとりごえ荘に合わせたロッジ風

この施設は、都市住民と農家とが交流を深めながら農業の活性化を図ることを目的に、昨年七月から建設を進めていたもので、鉄筋コンクリート造り二階建て、延べ床面積九百十三平方メートル、四人居屋十四室、六人居屋一室、十一人居屋二室(すべて和室)に八十四人が宿泊できるほか、研修室を兼ねた食堂、鳥越温泉を引いた大小二つの浴室などを備えています。

外観は、隣のとりごえ荘に合わせたロッジ風。山荘内はむき出しのコンクリートやレンガなどを用い、しやれたデザインとなっています。

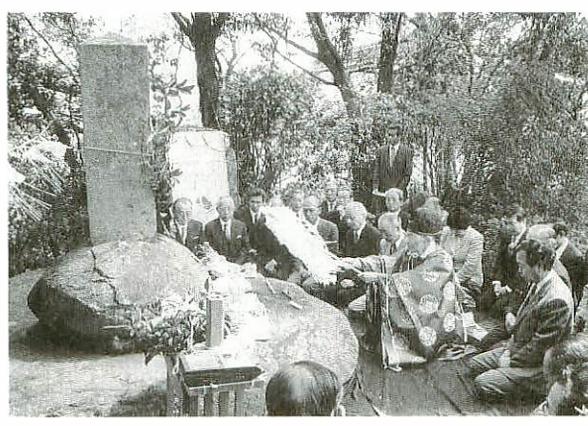
都市住民に土に親しみ、作物を育てる喜びを体験してもらおうと、山荘から西へ約七百メートル下った河内町転右の農地約五千平方メートルに「ふれあい農園」も開園。個人向け五十二区画(一区画十五平方メートル)、団体向け十九区画(同四十五平方メートル)を一年契約で貸し出す一方、山荘北側に隣接する河内ダム湖畔には、ソフトボールやゲートボールなどの軽スポーツが楽しめる多目的広場やテニスコート、ミニキャンプ場からなる「ふれあい広場」も整備しています。やまびこ山荘と農園などの周辺整備を含めた総事業費は

賀島公の遺徳しのぶ

賀島公は一六四五年に対馬の府中(現在の厳原)に生まれ、一六七五年、三十歳の時

江戸時代、対馬藩田代領(現在の田代地区と基山町)の副代官として飢饉に苦しむ農民に善政を施した賀島兵介公を供養する賀島祭が、命日の四月九日、田代本町の太田山安生寺で行われ、山口市長、天本基山町長ら約三十人が出席。玉串をささげて公の遺徳をしのびました。

その後、藩に戻り、大目付に就任しましたが、金権腐敗した藩政を批判したこ



建立200年を迎えた顕彰碑を前に行われた賀島祭

に副代官として田代代官所に赴任。干水害で飢きんに苦しむ領民に節約を諭す一方、植林や治水、貯蓄、勸農、養蚕などの政策をすすめ、経済の復興に取り組みました。また、薬を与え病人を救ったり、訴訟制を設けて民意の不満を取り上げたため、領民から慈父のように尊敬されたといわれています。

とで幽閉され、一六九六年、五十三歳で亡くなりました。一七九四年、田代領民が顕彰碑を建立、今年でちょうど建立二百年目を迎えます。

近的・遠的備えた本格的弓道場が完成



近的・遠的を併設
市民弓道場の落成式が四月十三日、山口市長はじめ関係者約七十人が出席して、宿町市民公園内の現地で行われました。

同弓道場は、総面積二千七百三十四平方メートル、鉄筋コンクリート造り平屋建てで、建築面積約四百八十七平方メートル。六人用の近的(二十八メートル)と遠的(六十メートル)の射場を備え、近的側には、矢道となる中庭に芝生を敷きつめ景観に配慮しているほか、観覧席や夜間照明も完備。近的と遠的を併設した弓道場は県内で初めて



華麗な舞いを披露するガールスカウトによる巫女舞

市民に郷土の歴史や自然に触れ「ふるさと鳥栖」を再発見してもらう「第七回とす弥生まつり」が四月三日、田代公園一帯で開かれました。

桜も五分咲きとなった会場では、初夏を思わせる陽気も手伝って、午前中から大勢の市民でにぎわいました。

開会式で弥生衣装などに身を包んだ青年会議所とガールスカウトのメンバーが、それぞれ武人舞と巫女舞を披露したのを皮切りに、

「ふるさと鳥栖」を再発見

また、二十五団体が出演したテント村でも、ゲームやバザール、即売会、試食会などが行われ、家族連れなどであふれました。

お昼には、桜の木の下で家族や友人とお弁当を広げ、花見を楽しむ姿も目立ち、訪れた市民は休日のさわやかな一日を思う存分満喫していました。

なお、この模様は五月八日（日）午前十時からSTSサガテレビで放映される「Well love九州 夢に向かって走れ！Jリーグと動物村」の中で一部紹介されますので、ご覧ください。

約三億七千七百六十万円。宿泊料金は大人二千五百七十円から。食事は別で、夕食は二千円、三千円、四千円の三コース。朝食は七百円。ふれあい農園使用料は個人向け五千円、団体向け一万五千円から二万五千円まで。

申し込みは直接 やまびこ山荘（☎5005）へ。



天井も高くしゃれたデザインの食堂

自分に合った食習慣身につけて 保健センターでヘルシーバイキング



カロリーなどの最終チェックを受ける参加者

保健センターで三月十九日、カロリーや栄養のバランスなど自分に合った食習慣を身につけてもらおうと「ヘルシーバイキング・講演会」が開かれ、昨年四月から同センターで開いているすこやか教室の卒業生のうち約三十人が参加しました。

参加者は、あらかじめ自分の身長

や体重、運動量などから割り出されたカロリー摂取量を基に、ご飯類やおかず、サラダなどカロリーを表示した九種類の料理から選んで皿に取り分けたあと、栄養士からカロリーや栄養のバランスなどについて指導を受けました。

参加者からは「今は健康ですが、これからの病気の予防のために参加しました。たいへん参考になります」と好評のようでした。

すこやか教室は、鳥栖市が「健康文化都市」に国から指定（全国十八都市）されたのを受けて、昨年四月から年五コースを開催。仕事を持つ主婦など二千代から五十代までの約百人が、医師や保健婦、栄養士による健康チェックと、健康運動指導士による体力テストの結果を基に、週一、二回二時間半程度、二か月間トレーニングを続けました。

です。総事業費は約一億一千五百万円。

式典では、市長が「市民の



観覧席や夜間照明、県内初の

が古式にのっとった

体力づくり、健康づくりはもとより、弓道を通して親ほくと交流を深めるコミュニケーションの場として活用していただきました



完成を祝って披露された奉射

奉射を披露して、完成を祝いました。

プロサッカー誘致に奔走

楠田 久男さん（77歳、平田町）



「青少年のサッカー熱の高まりは肌で感じます。ただ、佐賀県はサッカーの広がりから見ても、関東地方などに比べるとサッカーに対する思い

をを広げるのに少なからず困難もあります。これから若いサポーター（ファン）を取り込み、盛り上げていくことが課題です」

昭和六十一年から四年間、佐賀大学学長を務め、平成四年六月に佐賀県プロサッカーホームタウン誘致委員会会長に就任しました。

「初めは私自身、サッカーをよく知らないかと断ったんですが、サッカー協会などからの強い要請で引き受けることに……」

あんひと こんひと

⑳

プロサッカーチームを県全体で誘致する体制づくりのため、誘致委員会のメンバーとともにスタジアムの建設や、チーム運営会社、チーム下部組織、地域の支援体制づくり

に奔走。二十万人を超す署名を集めたほか、チームの紹介試合日程、運動の経過を書いたチラシ一万枚を県下に配布するなど、誘致運動を進めてきました。

「老人福祉や教育、文化政策の推進は、これからの鳥栖市にとって最も重要な課題。それを推進していくには、それを支えるだけの活力が何としても必要です。その活力となるのがプロサッカー



⑳ 民生部生活環境課公害交通係 吉山 シヅ子

誘致。スタジアムの位置から考えても、鳥栖市だけが佐賀・福岡両県はもとより、九州全体を結び付けることができる地域。この誘致が鳥栖市にとって百年の計だと信じて、鳥栖で生まれ鳥栖で育ててもらった者の一人として、私も頑張りますよ」

農業 新時代

◁36▷

「給料制、定時作業、日曜日休み 先進的な取り組みで活路開く」

水屋ライスセンターでオペレーターとして働くセンター責任者の大石金之さん（56歳、水屋町）。オペレーター三人で農地約五十畝に米、麦、大豆、レッドキャベツなどを栽培しています。

同センターは人手が足りない個人農家から農地を借り上げ、農家に代わって農業経営を行う農協直営の事業所として昭和四十六年に開設。独立採算性で農作物の売り上げから借地料などを支払うほか、



「意地がある」と大石さん

ては、朝八時から夕方五時まで定時の作業で、日曜日は休み。六十歳定年制も導入され、この先進的な

大石さんらは、サラリーマンと同様に給料を受け取ります。また、できる限り効率よく農作業を進め、農繁期を除い

取り組みは、各地で注目。鹿児島、宮崎などからの視察は後を絶ちません。「今年は、米の作付け面積

が例年より八割増え、農作業が集中する五月、六月は大変。ただ、もうすぐ若いオペレーターが入ってくれます」と、若以後継者への期待は大きい。「センターに農地を貸した農家はたくさんありますが、農地が集約され、労働力を増やさない限り、今が手いっぱいの状態ですね」

「もうすぐ定年。しかし、意地がある。頑張りますよ」

「故郷」

萬歳寺の南ヶ丘に、郷土の開祖毛利改め村山藏人介安直公を筆頭に、但馬守、大炊守、播磨守、主計守を祀る五人墓がある。初代藏人介公は応永年間今を去る五七二年前に没。その直系村山益敏さんは、昭和六十年八十七歳で名古屋市中で他界、同じ墓地に眠っておられる。益敏さんは、生前電力業界のリーダーとして大きな実績を残されたが、私にと

っては郷土の大先輩であり、よき師でもあった。その生家は今も河内の庄屋屋敷として新緑に包まれている。ここに昭和十二年東邦電力発行の社内誌「親愛」があるが、若きエンジニアだった益敏さんが書かれた、栄城佐賀中学校を偲ぶ手記「にはとりと大隈侯と靴の事」は興味深い。「…大正四年(?)の夏頃郷土の産んだ大先輩大隈重信

大人久方振りの帰國、町の人々は皆一様に大いに歓迎した。栄城中学の生徒は例の通り、四・五年の鉄砲組を先頭として町の中を既足の行事、駅頭で「棒鉾」の敬礼を行った。其翌日、偉大な大隈重信大人は、中学の講堂で音吐朗々、例の朗読式の口演を行はれた所が、既足で町の中を横行活歩する吾人の姿は、十八年振りに帰國した此のハイカラな

偉人を餘程驚かせたものと見え「この文明の世の中に既足で歩くのを正式な歩行方法と心得ている如きは甚だ野蛮で宜敷くない。須く吾人は時代に適應する必要がある」と指摘。学校当局は一週間後全生徒に対し、「来月より靴を穿くべし」とし、穿靴令を出すに至ったとある。結びには「かくして『にはとり』の誇り、足のエチオピアは二十年前に

文明の風に吹き散らされたのだった」と書かれている。一方九州経済界のトップとして活躍、昨年八十三歳で他界された永倉三郎さんは、この益敏さんと親戚に当たるが、同じ紙面に「童心残話」の随想を寄稿「常に搖籃の地は一木一葉でも嬉しいもの」として故郷への想いを述べられている。土に還る者を温かく包む、それが故郷である。(山下)

バレーボールの全国実業団リーグで二位の好成績を残した久光製薬チームが三月二十六・二十七日の両日、長野県で行われた日本リーグ入れ替え戦で同リーグ七位のNEC関西と対戦。二勝を挙げ、日本リーグへの復帰を決めました。

同二十八日には、宮本優総監督、段野千春主将はじめコーチ、選手ら十二人が市役所で、頑張ってください」と選手らを激励しました。久光製薬バレーボールチームは昭和三十年にチームを結成以来、実業団選手権、実業団リーグ、国民体育大会などに優勝、今回が一年ぶり四度目のリーグ入りとなります。



日本リーグ復帰を山下乡長に報告する久光製薬チーム

Viva! ビバ
スポーツ ③③
日本リーグに復帰
リーグ残留目指す

に山下乡長を訪れ、リーグ復帰の報告をするにも「これからはリーグ残留を目指したい。市民のみなさんの応援をよろしくお願いします」とあいさつをしたのにこたえて、市長が「鳥栖市のチームとして応援態勢を強化したい。

レフトに谷口由美恵も加わり、リーグでの活躍が期待されます。

さわやかさん ⑬

(株)ホンダクリオ佐賀は県内に四店舗を展開。鳥栖店は平成元年十月、宿町にオープンし、ホンダ車五車種、輸入車二車種の販売のほか、車検、点検、修理などお客様へのメンテナンスも万全です。私は経理担当ですが、接客も大事な仕事。お客様に気軽に来店いただくための雰囲気づくりと、

鳥栖にも若者を引きつけるものがほしいですね。その点、Jリーグの誘致は最適じゃないですか。私もスポーツ観戦が好きで、福岡までJリーグの観戦に二回出かけました。



(株)ホンダクリオ佐賀
鳥栖店勤務
松雪 容子さん
(23歳、曾根崎町)

事故防止のため活動します 交通安全指導員58人に委嘱状



市長から委嘱状を手渡される指導員

鳥栖市交通安全指導員委嘱状交付式が四月一日、市役所会議室で行われました。

交付式では交通安全指導員五十八人に山下市長から委嘱状が手渡されたあと、市長が「交通の要衝である鳥栖市の主要幹線道路の交通量は飛躍的に増大しています。市としても交通安全運動を重点的に実施、事故防止の徹底と事故の撲滅に努力していきます。みなさんの一層のご尽力をお願いいたします」とあいさつしました。

交通安全指導員は、園児・児童の登下校時の街頭指導や交通安全教室への協力など市民への交通安全思想の普及、徹底と交通事故防止のため活

動してま
す。任期は
二年。
本年度か
ら旭地区で
山内利光さ
ん(70歳、
西田町)と
小林和昭さ
ん(45歳、
江島町)の
二人が新指
導員として
活動される
ほか、一人
欠員となっ
ていた田代地区では平成四年
十月から松雪修さん(41歳、
浅井町)が活動されています。



松雪修さん



小林和昭さん



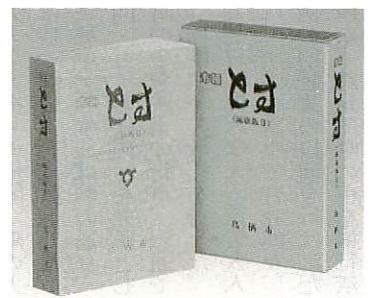
山内利光さん

定部 800部 市報の縮刷版が出来ました

市報とす(縮刷版Ⅱ)が出来上がりました。まだ申し込みをされていない方はお早めにお申し込みください。市制四十周年を記念した八百部の限定出版です。

本書は平成元年に刊行した縮刷版Ⅰの続刊として昭和四十五年四月一日号(No.一八〇)から五十八年四月一日号(No.四九一)までを収録。十三年間の市のあゆみを記録した鳥栖市の現代史ともいえるべき一冊です。

B5判、ケース入り、約千ページで定価四千八百四十円。市外にお住まいのご親せきや知人の方などへの贈り物としてもご利用ください。



また、昭和二十九年の創刊号から十六年分間分を収録した(縮刷版Ⅰ)(定価四千六百)は、残部僅少となっております。お買いもらした方、縮刷版Ⅱと合わせて購入ご希望の方はお早めにお申し込みください。

購入申し込みは企画課広報統計係(☎3513)へ。

5月15日(日)「鳥の日」行事

鳥の写真展やバードカービング展も

第六回「鳥の日」の行事を五月十五日(日)午前九時から正午まで、市立図書館を中心に開きます。

式典では小中学生から募集した「鳥の日」書道コンクールと愛鳥週間ポスターコンクール入賞者の表彰、また、市民プール北側の芝生広場では園児や児童を対象にした鳥のスケッチ大会、親子で挑戦する鳥の巣箱作りを行います。

五月七日から十五日まで(九日は休館)市立図書館展示ホールで、書道コンクールとポスターコンクールの入賞作品、市内で見られる野鳥の写真約三十点を展示。また、次のお二人のご協力で写真展とバードカービング展も同時に開きます。ぜひご覧ください。

■福永孝義写真展「宝満川のサギたち」：宝満川をエサ場にしたサギたちの生活を、二年間かけて撮影した力作のうちから三十五点を展示。

■「バードカービング展」：日本野鳥の会会員・森山敬典さん(福岡市在住)が作った本物そっくりの木彫りの野鳥約三十点(実物大)を展示。



バードカービング

寄付

3月31日
現在
(敬称略)

香典返し 社会福祉協議会

会へ▽古賀英二(儀徳町、亡妻清子)▽榑藤房代(同、亡夫政利)▽梁井俊雄(藤木町、亡妻ミト)▽龍尾良人(山浦町、亡妻シゲノ)▽横尾悦子(同、亡夫貞美)▽鳥飼長光(幡崎町、亡母ハツネ)▽久保山征恵(同、亡夫實男)▽

江上ツネヨ(今泉町、亡夫義夫)▽緒方アサ(同、亡夫桂藏)▽小出康子(鎗田町、亡長女真彩子)▽立石敏美(牛原町、亡父勝次郎)▽井上シゲノ(加藤田町、亡夫市郎)▽今村章(立石町、亡母ユクエ)▽天本光雄(田代大官町、亡妻明美)▽田中益子(酒井西町、亡夫功)▽伊藤達哉(曾根崎町、亡父博明)▽山本弥栄子(同、亡母アキエ)▽古川アヤ子(同、亡夫正登)▽

酒井ヨシエ(村田町、亡夫清秋)▽山下武人(元町、亡父富市)▽津田ヤエ子(平田町、亡夫智啓)▽松隈勝次(宿町、亡妻文子)▽國武タカ子(田代昌町、亡夫龍雄)▽長家忠(本鳥栖町、亡母ミチヨ)▽佐々木昭(永吉町、亡母トメ)▽岡本秀子(京町、亡夫栄造)▽塙節子(真木町、亡夫公道)▽清水ミツコ(桜町、亡夫喜一)▽森一雄(田代新町、亡母サチヨ)

一般寄付 社会福祉協議会

会へ▽二万円(地区文化祭バザー益金)：基里地区婦人会 白鳩園へ▽仲よしハウス一棟(二十六万二千円)：平成五年度終園児一同(代表吉塚正) 小鳩園へ▽グラビノーバ、ポーター、園旗立て一式(二十五万五千九十九円)：平成五年度終園児一同(代表楠修一郎) 鳥栖園へ▽ポーターCDプレーヤー二台、整理棚四台、ジョイントパンチ二セ

5月22日 花のめぐりめぐり花の日

五月二十二日(日)は花の日。市では、同日午前九時から午後二時まで、市役所前広場で花に関する行事を開きます。

九時半からの式典では、小中学生から募集した花の絵コンクール入賞者を表彰。十時から、花のスケッチ大会や押し花教室、陸上自衛隊目達原駐屯地音楽隊による花のコンサートなどの催しがスタート。花苗の無料配布を午前

十時と午後一時の二回、鳥栖菊花会による菊苗の無料配布を午前十一時に行うほか、花の名前当てクイズを五月十六日から花の日当日まで、市民ホールで行っています。

なお、花の絵コンクールと花の写真展への出品作品の募集を五月十日まで行っています。詳しくは都市計画課(☎3603)へ。

麻しん(はしか) 予防接種

問い合わせ：すこやかセンター(保健センター☎3650)へ

麻しん(はしか) 予防接種を次の要領で実施します

- ◎対象=1歳6か月以上3歳未満の幼児
- ◎実施期間=6月1日(水)~同30日(木)
- ◎接種料金=無料
- ◎申し込み=5月25日(木)までに直接、下記の医療機関へお申し込みください
- ◎注意①すでに、はしかにかかったことがある者と麻しん(はしか)の予防接種が済んでいる者は受けられません ②人によっては、接種後1週間ぐらいで発熱、発しんといった麻しん症状が出る場合があります

医療機関	住所	電話	実施曜日/実施時間
原診療所	本町	☎2648	月~土曜日/9:00~12:00
古賀医院	原古賀町	☎3457	
吉松医院	田代昌町	☎3210	
古賀内科医院	宿町	☎3204	
玄々堂内科	曾根崎町	☎2151	
今村病院	轟木町	☎5550	
古賀医院	儀徳町	☎2294	月~土曜日/9:00~12:30
野田内科医院	西田町	☎1160	
前山内科	宿町	☎0005	
宮崎医院	東町	☎2083	月~金曜日/9:00~17:00
高尾病院	京町	☎2328	土曜日/9:00~12:00
白水医院	本通町	☎2426	月~金曜日/9:00~18:00
			土曜日/9:00~12:00
ひよし小児科	宿町	☎2677	月曜日/14:30~17:00
			火・土曜日/9:00~12:00
小児科村上医院	古野町	☎2450	水・木・金曜日 { 9:00~12:00 14:30~17:00 }
			月~金曜日 { 9:00~12:30 13:30~17:00 }
山口医院	姫方町	☎3401	月~金曜日/10:00~14:00
有吉医院	宿町	☎3526	土曜日/10:00~12:00
			月~金曜日/9:00~19:00
石田医院	古賀町	☎2722	土曜日/9:00~17:00
			月~金曜日 { 10:00~12:30 15:00~17:00 }
上野内科	田代外町	☎2315	土曜日/10:00~12:30 (第2土曜日は休み)
古賀病院	本通町	☎3771	月・水・木曜日/14:00~16:00
三輪堂医院	元町	☎2281	月~金曜日/9:00~17:00
権藤医院	田代上町	☎2978	月~金曜日/13:30~17:00
斎藤内科医院	東町	☎2016	月~金曜日 { 10:00~12:00 14:00~17:00 }
			木・土曜日/9:00~12:00
野下医院	曾根崎町	☎2082	月・火・水・金曜日 { 9:00~12:00 15:30~17:00 }
大石外科医院	田代本町	☎3676	月~土曜日/9:00~12:50
			月~金曜日 { 10:00~12:00 15:00~17:00 }
武田内科	村田町	☎1011	土曜日/10:00~12:00
			月~金曜日/9:00~18:00
			土曜日/9:00~13:00

ット(二十四万八千二百九十三円)：平成五年度終園児一同(代表堀優彦) いづみ園へ

▽ステージ引き幕、後幕、ホワイトボード(三十八万四千円)：平成五年度終園児一同(代表松隈邦博) 下野園へ

▽ままごとサークルランド、たべものシリーズ、パーティークイーン各一セット(五万九千三百八十円)：平成五年度終園児一同(代表池尻恵二)

鳥栖小学校へ▽からくり時計、書架(十四万七千円)：平成五年度卒業生一同(代表成富

秀子) 鳥栖北小学校へ▽図書券(五万五百円)：平成五年度卒業生一同(代表岡本泰子)

田代小学校へ▽掃除機二台(十万三千円)：平成五年度卒業生一同(代表藤田照代)

▽飼育小屋一棟改築(五十万円)：同小PTA(会長黒田信行) 若葉小学校へ▽作品展

示棚二台(七万二千元)：平成五年度卒業生一同(代表松雪勝良) 基里中学校へ▽会議用テーブル六台(十七万四千六百元)：平成五年度卒業生一同(代表平川真智子) 鳥栖西中学校へ▽会議用椅子三千脚(十二万円)：

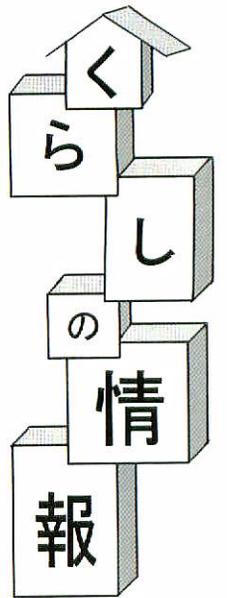
△▽記念樹・イチヨウの木三本(八万二千元)：平成五年度卒業生一同(代表羽根一江)

旭小学校へ▽運梯一基(十二万二千元)：平成五年度卒業生一同(代表野田僚子) 鳥栖中学校へ▽壁掛け用太陽電池時計一台、天幕一張り(二十四万円)：平成五年度卒業生一同(代表松雪勝良) 基里中学校へ▽会議用テーブル六台(十七万四千六百元)：平成五年度卒業生一同(代表平川真智子) 鳥栖西中学校へ▽会議用椅子三千脚(十二万円)：

平成五年度卒業生一同(代表龍寛明) 田代中学校へ▽体育館用椅子五十脚、ワープロ、ラベル復写機各一台(二十六万円)：平成五年度卒業生一同(代表天本元江)

指定寄付 社会福祉協議会へ▽車いす六台(真心の園若柳療育園へ各三台指定)：鳥栖市老人クラブ連合会▽一万円(朝日山学園建設資金へ指定)：村山三重子(大正町)▽二万円(鳥栖市身体障害者福祉協会へ指定)：重松ナミ(桜町)

お知らせ 市企画課は4月から、旧2階第5会議室に部屋を移しました。



夏に備えて水道の洗管作業

水道課では夏、水の使用量が増える前に「水あか」の流出などを防ぐため、五月六日から同三十一日までの日程で水道の洗管作業を行います。

作業は午後十時から翌朝五時までの夜間、慎重に行いますが、やむを得ず断水や水圧低下、濁水が出るような状況も考えられますので、みなさん

んのご協力をお願いします。

- 六日(金) 幸津町、儀徳町、西田町、村田町、江島町、三島町、下野町、前田町
- 十日(火) 轟木町、元町、秋葉町、東町、京町、本通町
- 十三日(金) 本町、大正町、古野町、土井町、本鳥栖町、鎗田町、神辺合町、田代外町、田代外町住宅
- 十七日(火) 布津原町、事業団宿舎、宿町、古賀町、萱方町、浅井町、神辺町、田代大官町、加藤田町

- 二十日(金) 村田新町、西新町、原古賀町、平田町、山都町、山浦町、山浦団地、蔵上町、養父町
- 二十四日(火) 田代上町、田代新町、松原町、桜町、田代昌町、田代本町、今町
- 二十七日(金) 真木町、今泉町、藤木町、商工団地、酒井西町、高田町、安楽寺町、水屋町、酒井東町
- 三十一日(金) 曾根崎町、飯田町、原町、姫方町、幡崎町、永吉町

募集

まちづくりポスター！ 作文コンクール

ポスターは「夢のあるまち」や「二十一世紀のまち」など、作文は「私の住んでみたいまち」「まちづくりへの提案」などテーマは「まちづくり」に関するものなら何でも結構です。対象 県内の小・中学生と高校生

応募方法 ポスターは四つ切画用紙(水彩、ポスターカラー、版用紙など)を用い、作文は四百字詰め原稿用紙二枚程度で、五月九日までに市都市計画課(☎3601)へ

魅つめよう佐賀 県民バスツアー

とき 六月五日(日)
行き先 名護屋城跡、呼子町大綱引き、九州陶磁文化館などを訪問

対象 転勤などで平成五年四月一日以降、新たに県民となった中学生以上の方(保護者同伴の場合は小学生の参加も可能)

参加料 一人千五百円
応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、勤務先とその電話番号、県内に転入された年月日、利用する集合地(佐賀市役所前、鳥栖市役所前、JR基山駅前、多久市役所前のいずれか)を

明記し、五月二十日までに県

福祉

青い鳥郵便はがきを 差し上げます

鳥栖郵便局では、一級と二級の身体障害者手帳をお持ちの方に青い鳥郵便はがき(五十円)を二十枚差し上げています。ご希望の方は五月三十日まで最寄りの郵便局でお申し込みください。申込用紙は郵便局、福祉事務所に用意しています。詳しくは鳥栖郵便局(☎2042)へ。

身体障害者のための よろず相談

とき 第一・三金曜日午前
十時～正午
ところ 社会福祉会館
相談員 吉田富次郎(田代新町)、古川久子(田代本町)

主催 鳥栖市身体障害者福祉協会

赤十字家庭看護法講習会

とき 五月十日(火)・十三日(金)・十七日(火)・二十日(金)午前九時半～午後三時半
ところ 日本赤十字社佐賀県支部講堂
対象 一般の方で、四日間の日程にすべて参加できる方
内容 お年寄りの看護のかたなど

スポーツ

バウンドテニス教室 ラージボール卓球教室

期間 五月二十五日(水)から六月二十四日(金)までの毎週水・金曜日(計十回)
時間 バウンドテニス教室 午前九時半～十一時半
ラージボール卓球教室 午後一時半～三時半

対象 市内に住む一般の方
定員 四十人
申し込み 教育委員会社会体育課(☎3522)へ

佐賀県ペタンク大会

とき 五月二十二日(日)午前九時
ところ 市民公園多目的広場
参加資格 満二十歳以上の方
で一チーム三人で構成
参加料 一チーム三千元
申し込み 五月十三日までに参加料を添えて直接または郵送で県ペタンク協会事務局・緒方康弘(〒841鳥栖市宿町一八八鳥栖市役所税務課

催し

新緑登山

とき 五月十五日(日)午前七時市役所出発
行き先 犬ヶ岳(一、一三〇m、大分県豊前市)
主催 市山岳連盟(会長・横枕貫治)
申し込み 午後七時以降、西依政雄(☎3034)へ

保健

鳥栖保健所で難病相談

難病で悩んでいる患者・家族の方を対象に医師と保健婦による難病相談を次のとおり行います。
とき 五月二十四日(火)から三月七日(火)まで二か月に一回(計六回)午後一時～

☎3522体協事務局)へ
※今大会は第七回全国健康福祉祭がわ大会への派遣選手選考会を兼ねています。選考会の参加資格は県内に住む六十歳以上の方で、チームで女性一人以上が常時出場することです。

問い合わせ 鳥栖保健所 (☎09523161)

「ご存じですか」

自動車税は5月末までに

自動車税の納税通知書は五

月十一日ごろ郵送されます。五月三十一日までに忘れずに納めましょう。

自動車税を納付したとき、納税通知書の右片が「納税証明書」になりますので、車検証と一緒に大切に保管してください。

詳しくは佐賀県税事務所

(☎09523161)へ。
訂正 前号八ページ、5

月の園芸教室の中で、さつき盆栽の枝の作り方「十日(火)」は「二十五日(水)」、ミヤマキリシマの呼びつき「二十五日(水)」は「十日(火)」の誤りでした。おわびして訂正します。

高齢者就職情報

高齢者職業相談室(市役所商工課内)には、現在企業から次のような求人申し込みがあつています。詳しい仕事の内容や労働条件などは同相談室(☎3556)へ。

ひとにやさしいまちづくり事業

鳥栖駅に車いす用登坂機設置

市では、ひとにやさしいまちづくり整備推進事業に取り組んでいます。

この事業は、不特定多数の方が利用する公共的な民間の施設(病院、銀行、スーパーなど)で、①車いす用トイレの設置②階段のスロープ化または段差の解消③出入り口の自動ドア化④障害者用エレベーターの設置または改修など高齢者や障害を持つ方のために設備の改善や新設をする場合、その経費の一部(最高で二百万円までの経費に対して、その三分の二)を補助するものです。

これまでに武田内科(村田町)の出入り口の自動ドア化や門司歯科医院(田代上町)の車いすや寝たきりの方を送迎するためのワゴン車の改造のほか、JR鳥栖駅では、車いすに乗ったまま階段の昇降



ができる移動式車いす用登坂機の設置に補助を行ってまいりますので、ぜひご利用ください。

また、これから設備の改善をしようとお考えの施設があれば、補助の申請期限が本年度中となっておりますので、早めに申請をしてください。

詳しくは福祉事務所社会係(☎3552)へ。

⑥尿失禁を克服しよう!



咳やくしゃみ、重い物を持つ、スポーツをするなどおなかに力が入ったときに漏れる腹圧性の尿失禁です。これは、膀胱や子宮、腸などの内臓を下から支えている骨盤底筋の筋力低下で起きます。これを次のような簡単な体操で鍛えることができます。

①リラックスして足を肩幅に開き背筋を伸ばします

②肛門を閉め五つ数えます
女性の場合は膣も閉めます。これを三十回ずつ一日二回程度行います。信号待ちや歯磨きをしながらなど日常生活の中で習慣にするとよいでしょう。

症状がひどい場合は、泌尿器科で受診しましょう。

何かのほずみにおしっこが漏れる尿失禁に悩んでいる人が多いようです。尿失禁は、圧倒的に女性の方が多いのが特徴です。これまでは「年だから当たり前」「出産後はしかたない」とあきらめる人も多かったようです。



■東佐賀病院で看護フェアー 1日看護婦も募集

5月11日(水)・12日(木)・13日(金)午前9時～午後6時、国立療養所東佐賀病院。内容は栄養・健康相談、健康チェック、看護工夫作品展示など。11日のふれあい看護体験での1日看護婦さんも募集しています。詳しくは国立療養所東佐賀病院看護部(中原町☎2048)へ。

■第3回ふれあい音楽会

5月21日(土)午後7時、市民文化会館。曲目はクラシックからポピュラーまで楽しい音楽の集いです。出演はアイルランドふくおかバンド、鳥栖新聞アンサンブル。入場無料。詳しくは鳥栖新聞アンサンブル(☎7470)へ。

■旭公民館管理人を募集

市では旭公民館の管理人を募集しています。仕事は公民館の開閉や清掃などです。資格は住み込みができ、健康な方。委託料は月額4万2,000円。申し込みは5月13日までに履歴書を持って教育委員会社会教育課(☎3521)へ。

■勤労青少年ホーム社交ダンス 受講者を募集

毎週火・金曜日午後7時～8時半、勤労青少年ホーム。詳しくは同ホーム(元町☎4780)へ。

■青年海外協力隊員募集説明会

5月17日(火)午後6時半～9時、はがくれ荘(佐賀市)。内容は派遣のシステムや待遇についての説明や隊員OB、OGの体験発表など。入場料、予約などは一切不要。詳しくは県庁国際交流課(☎09527004)へ。

中世山城と筑紫氏

〔23〕筑紫氏 その二十二

前回でふれたように、天正十三年頃まで筑紫氏は、龍造寺氏・秋月氏と一心同体の動きをします。また、この時期肥後八代まで島津氏が進出してきており、筑後をめぐる対大友戦に関して、島津氏が龍造寺・秋月・筑紫と同一歩調をとっていたことが、島津氏の宿老上井覚兼の日記によつてうかがわれます。

この「上井覚兼日記」には、後の天正十四年勝尾城落城のことも記されており、島津方の武將川上左京と筑紫晴門一騎打ちの件は、よく知られているところです。と

ところで、この日記によれば、天正十二年十月から翌十三年十月の一年間に、八回に及ぶ筑紫氏に関する記事が見られます。

以下、その一部を紹介します。

「……龍造寺・秋月・筑紫など御一致候ハバ、豊州衆一人も退候する儀ハ成かたく存候、……」

秋月・龍・筑使者、秘書へ御礼ニ被参候、……秋月より馬・太刀、

龍より太刀・織物、筑紫より太刀・百疋、……二十五日、……此朝、

秋月・龍造寺・筑紫之使者へ、御酒寄合候也、……先々宝満・橋、筑紫殿被切取、就夫、高良・



勝尾城の搦め手の守りである鬼が城

北野豊陣敗北候由也、……」
これらの記事から、島津氏を巡る龍造寺氏・秋月氏・筑紫氏の関係がうかがわれるとともに、島津方から見た北部九州の動向を占うキヤスチングボードの一翼を筑紫氏が占めていたと考えられます。

消えゆく民具

一生活用具編一

〔51〕合羽・コート

現代では合羽といえは「雨合羽」を思い出しますが、本来は雨と寒さを防ぐ着用具で、室町時代の十五世紀ごろ南蛮



から渡来。当時は「南蛮蓑」と呼ばれ、合羽という字はポルトガル語の発音に漢字を当て字したものです。

江戸時代になると、和服に合わせた袖合羽が工夫され、元禄期以降一般化。明治年間になると、ラシャ製で蓑の形をした「とんび」が大流行します。とんびという名称は鳥のトビの羽に似ていることからきています。昭和三十年ごろまで、明治前半生まれの人達が蓑形のオーバークートの肩口に丸合羽を合わせた「二重回しのとんび」を着て雄然と街中を歩いた風景を見かけることができました。

流行した二重回しのとんび
庶民は桐油と柿渋を引いた紙製や木綿を材料とした合羽を用いました。日常は稲ワラ製の蓑で、遠出する時の道中用にして

船来ラシャで作られた「合羽」は、新しもの好きの武将達にたちまち広がりしました。



市役所（本庁・保健センター）は、今月から毎週土曜日を休ませていただくことになりました。実施に伴って、平日の窓口業務をこれまでの「午後5時まで」から「午後5時15分まで」に延長します。市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。なお、本庁と保健センター以外の市の施設は通常どおり業務を行います。

今号の表紙



市の花ハナシヨウワ



市の木モチノキ

◆赤ちゃんの写真を募集 「パパ撮って」に掲載する赤ちゃんの写真を集。写真とひと言を添えて企画課広報統計係(☎853513)へ

パパ撮って



古瀬靖久さん桂子さんの長女
由奈ちゃん
(二歳一か月・田代大宮町)

●ママからひと言
健康で笑顔の素敵な女性になってね!

人口

平成6年4月1日現在
()内は前月との比較

総数 56,042人 (-218)

男 26,720人 (-123)

女 29,322人 (-95)

世帯数 17,433世帯 (-112)

5月の納税

固定資産税(1期分)

納期限 ● 5月31日

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合

TEL 84-2500

水道の修繕はすべて上記へお申し込みください